

出来形管理パッケージ 操作手順書

2024年8月

株式会社MetaMoJi



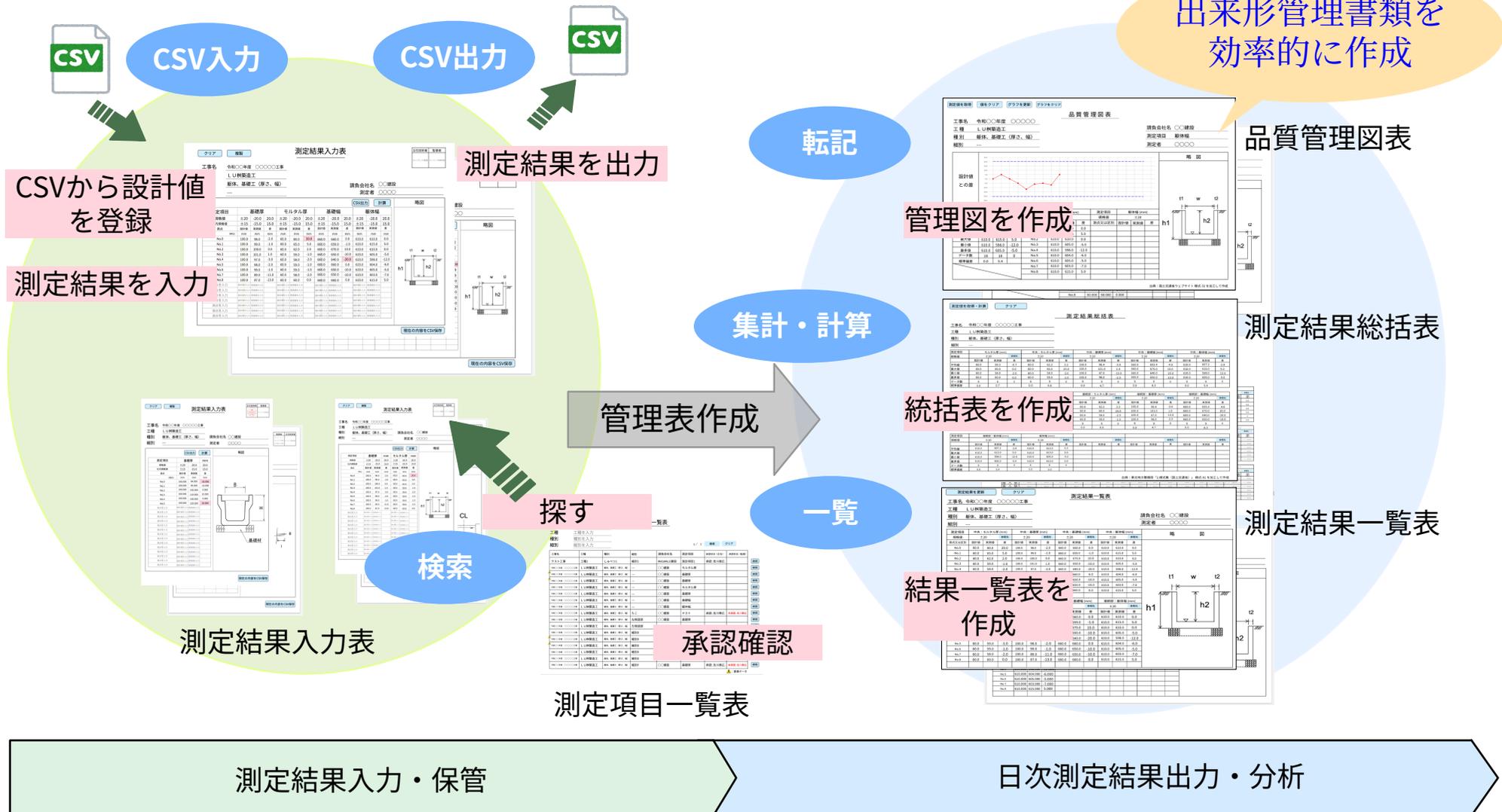
出来形管理パッケージ解説

1. 出来形管理パッケージの概要
2. ノートテンプレート一覧
3. 操作手順
 - 1) 測定結果を入力する (設計データ取込)
 - 2) 測定結果を入力する
 - 3) 測定結果を探す
 - 4) 測定結果を出力する (品質管理図表)
 - 5) 測定結果を出力する (測定結果総括表・測定結果一覧表)
4. その他
 - 1) [CSV出力]の形式
 - 2) [現在の内容をCSV出力]の形式
5. 著作権等

出来形管理パッケージの概要

出来形検査業務において、設計値データを記載した測定結果入力表を用意し、測定値を入力して設計値に対して適格かどうかの検査をおこないます。測定結果から品質管理図表、測定結果総括表、測定結果一覧表などの管理帳票が作れます。

出来形管理書類を効率的に作成



測定結果入力・保管

日次測定結果出力・分析

2. ノートテンプレート一覧

▼ 出来形管理

▼ 測定結果を入力する



測定結果入力表 (1列) テンプレート



測定結果入力表 (2列) テンプレート ①



測定結果入力表 (4列) テンプレート



測定結果入力表 (設計データ取込) ②

▼ 測定結果を探す



測定項目一覧表テンプレート ③

▼ 測定結果を出力・分析する



品質管理図表テンプレート ④



測定結果一覧表テンプレート ⑤

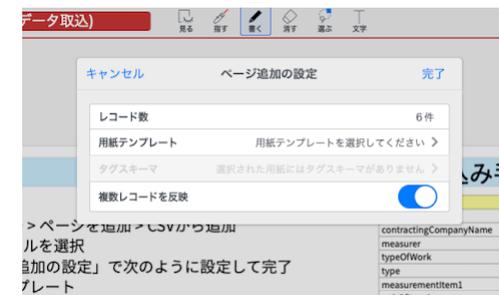
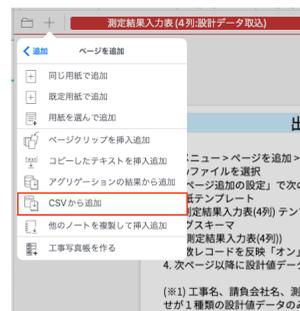
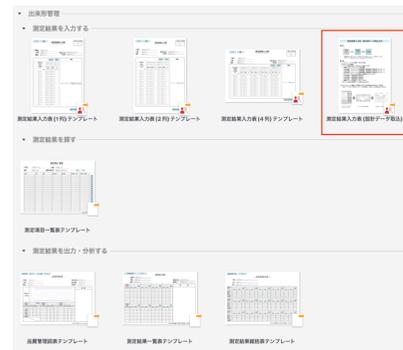


測定結果総括表テンプレート ⑥

- ① 測定結果入力表
測定結果を入力するノートを作成します。
☑ 3.2) 測定結果を入力する 参照
- ② 測定結果入力表 (設計データ取込)
設計データを読み込み、測定結果を入力するためのノートを作成します
☑ 3.1) 測定結果を入力する 参照
- ③ 測定測定項目一覧表
測定結果を検索し測定項目を一覧します。
目的の測定結果を探すことができます
☑ 3.3) 測定結果を探す 参照
- ④ 品質管理図表
☑ 3.4) 測定結果を出力する 参照
- ⑤ 測定結果一覧表
☑ 3.5) 測定結果を出力する 参照
- ⑥ 測定結果総括表
☑ 3.5) 測定結果を出力する 参照

3. 操作手順

1) 測定結果を入力する(設計データ取込) ※測点・設計値をCSVから取り込む



① 新規ノート作成>ノートテンプレート>パッケージ>出来形管理 から、「測定結果入力表(設計データ取込)」を選び新規ノート作成します。

② シェアノートを作成します

③ +>ページを追加>CSVから追加 を実行し、設計値を記載したCSVファイルを選択します

④ 用紙テンプレート「測定結果入力表(4列)テンプレート」を選択し、完了 (1列、2列テンプレートも選択できます)

測定結果入力表

測定項目	基礎幅				モルタル厚				躯体幅			
	±20	-20.0	20.0	±20	±20	-20.0	20.0	±20	±20	-20.0	20.0	±20
No.0	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.1	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.2	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.3	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.4	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.5	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0

必要に応じて測点を追加できます

測定結果入力表

測定項目	基礎幅				モルタル厚				躯体幅			
	±20	-20.0	20.0	±20	±20	-20.0	20.0	±20	±20	-20.0	20.0	±20
No.0	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.1	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.2	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.3	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.4	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0
No.5	100.0	99.9	100.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0	60.0	59.9	60.1	60.0



⑤ 次のページに設計値を取り込んだ測定結果入力表(4列)が表示されますので、測定値を入力します。必要があれば測点を追加します。

⑥ 計算ボタンを押して、設計値と実測値の差を計算します。差が「社内規格値」を超える場合は背景色を変更して警告します。※測定結果が規格値内に収まることを確認します。

⑦ 測定結果の入力が完了したら、主任技術者は「承認ボタン」を押して測定結果を承認します。
⑧ 主任技術者は、承認依頼ボタンを押して、監督者へ承認を依頼します。依頼を受けた監督者は、測定結果を確認し承認します。

3. 操作手順

2) 測定結果を入力する(入力内容)

クリア
複製

測定結果入力表

主任技術者

監督者
承認済

① 工事名 令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事

工種 LU樹築造工

種別 躯体、基礎工(厚さ、幅) 請負会社名 〇〇建設

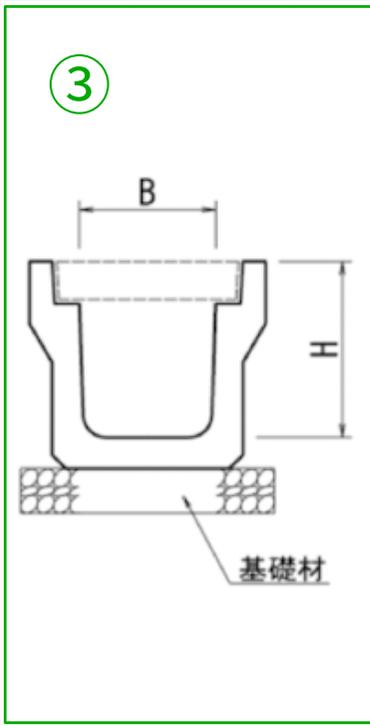
細別 --- 測定者 〇〇〇〇

②

測定項目	基礎厚		mm
規格値	±20	-20.0	20.0
社内規格値	±15	-15.0	15.0

測点	設計値	実測値	差
(単位)	mm	mm	mm
No.0	100.0	84.0	-16.0
No.1	100.0	90.0	-10.0
No.2	100.0	100.0	0.0
No.3	100.0	110.0	10.0
No.4	100.0	100.0	0.0
No.5	100.0	120.0	20.0

③



④ 測点: 測定する箇所の名前を入力します。

⑤ 設計値: 設計値を入力します。

⑥ 実測値: 実測値を入力します。

⑦ 差: [計算]ボタンを押し、実測値と設計値の差を計算します。
社内規格の範囲から外れたとき、背景色を変更し警告します。

⑧ 承認: 主任技術者が承認後、監督者に承認を依頼します。

現在の内容をCSV保存

■準備

- ① 基本情報
 - [工事名]、[工種]、[種別]、[細別]、[請負会社名]、[測定者]を入力します。
 - [細別]を利用しない場合は「---」を設定します。
 - この組み合わせを基本単位とし、他と重複しないことを前提とします。

- ② 測定項目情報
 - [測定項目]、[規格値(文字列)]、[規格値最小値(数値)]、[規格値最大値(数値)]、[社内規格値(文字列)]、[社内規格最小値(数値)]、[社内規格最大値(数値)]、[測定単位]を入力します。
 - (最大値、最小値は、設計値と実測値の差の最大値、最小値です)

- ③ 略図: タップすると測定項目の内容を示す略図を設定できます。

- ④ 測点: 測定する箇所の名前を入力します。

- ⑤ 設計値: 設計値を入力します。

設計値をCSVから取り込むこともできます。

 3.1) 参照

■測定・確認

- ⑥ 実測値: 実測値を入力します。

- ⑦ 差
 - [計算]ボタンを押し、実測値と設計値の差を計算します。
 - 社内規格の範囲から外れたとき、背景色を変更し警告します。

- ⑧ 承認
 - 主任技術者が承認後、監督者に承認を依頼します。

3. 操作手順

2) 測定結果を入力する(ボタン操作)

クリア 複製

測定結果入力表

主任技術者 監督者

① ②

工事名 令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事

工程 LU樹築造工

種別 躯体、基礎工(厚さ、幅) 請負会社名 〇〇建設

細別 --- 測定者 〇〇〇〇

③ CSV出力 計算 ④ 略図

測定項目	基礎厚		mm
規格値	±20	-20.0	20.0
社内規格値	±15	-15.0	15.0
測点	設計値	実測値	差
(単位)	mm	mm	mm
No.0	100.0	84.0	-16.0
No.1	100.0	90.0	-10.0
No.2	100.0	100.0	0.0
No.3	100.0	110.0	10.0
No.4	100.0	100.0	0.0
No.5	100.0	120.0	20.0
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル
測点を入力	設計値を入力	実測値を入力	キャンセル

⑤ 現在の内容をCSV保存

■ 準備

- ① クリア
 - ・入力した内容をすべてクリアします。
- ② 複製
 - ・現在のページを複製して新しいページを作成します。

■ 測定・確認

- ③ CSV出力
 - ・他のシステムで扱うため、CSV形式で出力します。
 - 4. その他 1) [CSV出力]の形式 参照
 - ④ 計算
 - ・設計値と実測値の差を計算し、「差」列に表示します。
 - 社内規格の範囲から外れるとき背景を変更して警告します。
 - ⑤ 現在の内容をCSV保存
 - ・現在の内容をCSV形式で保存します。
 - ・保存されたCSVファイルを利用して、+>ページを追加>CSV追加を実行すると、元の内容に復元されます。
 - (注意) 略図を複数個設定している場合、CSV追加を実行しても略図は復元されません。
- ・出来形管理パッケージで利用するための出力形式です。
5. その他 2) [現在の内容をCSV保存]の形式 参照

3. 操作手順

3) 測定結果を探す

※入力途中の測定結果入力表を探したり、承認状況を確認します。



測定項目一覧表

工事名	工種	種別	細別	請負会社名	測定項目	承認状況 (主任)	承認状況 (監督)
テスト工事	工種1	しゅべつ1	細別1	MetaMoJi建設	測定項目1	承認: 吉川泰広	
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	モルタル厚	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	基礎厚	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	基礎幅	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	躯体幅	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	左側道部	〇〇建設	基礎厚		
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	左側道部	〇〇建設	測定項目2	承認: 吉川泰広	
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	モルタル厚		
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	基礎厚		
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	基礎幅		
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別Y	〇〇建設	躯体幅		
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	LU構築造工	躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別Y	〇〇建設	基礎厚	承認: 吉川泰広	承認: 吉川泰広

測定結果入力表に記載されている測定項目を一覧で表示します
測定結果入力表の承認状況を表示します。

① 新規ノート作成 > ノートテンプレート > パッケージ > 出来形管理 から、「測定項目一覧表テンプレート」を選択して新規ノートを作成します。

② 抽出対象の「工事名」「工種」「種別」「細別」を指定し「検索」ボタンを押します。空の場合は抽出条件に含めません。
※すべて「空」のとき、全ての測定項目を抽出します

③ 抽出した測定項目を一覧表示します。

- 「工事名」～「測定項目」：抽出した測定項目を一覧表示します。
- 「承認状況 (主任)」：主任技術者が承認したとき、"承認: <主任技術者名>" と表示します。
- 「承認状況 (監督)」：監督者の承認状況
 - 空: 承認を依頼していない
 - "未承認: <承認依頼者>": 承認者に依頼しているが、未承認のもの
 - "承認: <承認依頼者>": 承認者が承認しているもの

測定項目一覧表

種別	細別	請負会社名	測定項目	承認状況 (主任)	承認状況 (監督)
しゅべつ1	細別1	MetaMoJi建設	測定項目1	承認: 吉川泰広	
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	モルタル厚	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	基礎厚	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	基礎幅	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	---	〇〇建設	躯体幅	承認: 吉川泰広	未承認: 吉川泰広
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	左側道部	〇〇建設	基礎厚		
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	左側道部	〇〇建設	測定項目2	承認: 吉川泰広	
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	モルタル厚		
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	基礎厚		
躯体、基礎工 (厚さ、幅)	細別X	〇〇建設	基礎幅		



④ 確認したい測定項目の右端の「参照」ボタンを押すと、対象の測定結果入力表に移動することができます。
- 測定結果を直接確認することができます。

○ 重複データの警告

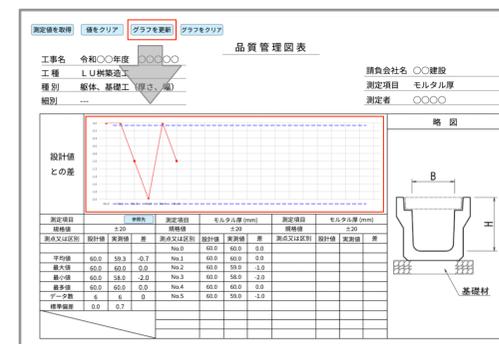
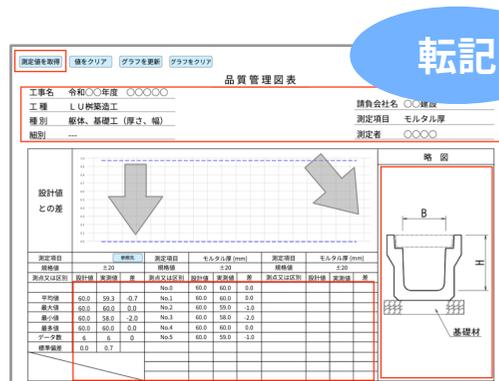
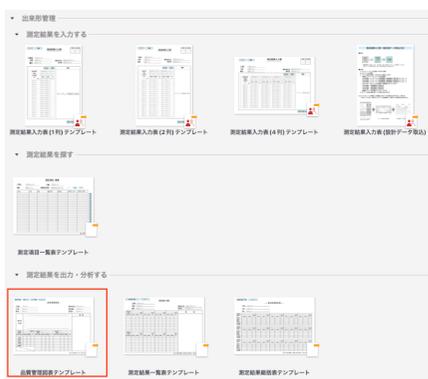
・工事名、工種、種別、請負会社名、測定項目を組み合わせが重複していると、品質管理図表、測定結果総括表、測定結果一覧表で正しく値を反映できない場合があります。
・抽出結果に重複データを含む場合は、先頭に重複を示すアイコンを表示します。

工事名	工種	種別	請負会社名	測定項目
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	車道舗装工	表層工、上層・下層路盤工	〇〇建設	厚さ (上層路盤)
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	車道舗装工	表層工、上層・下層路盤工	〇〇建設	厚さ (上層路盤)
令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事	車道舗装工	表層工、上層・下層路盤工	〇〇建設	厚さ (仮相路盤)

3. 操作手順

4) 測定結果を出力する

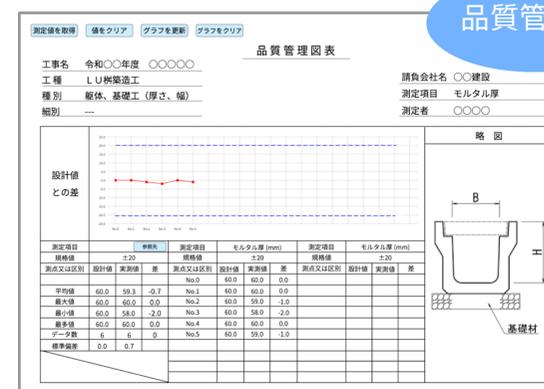
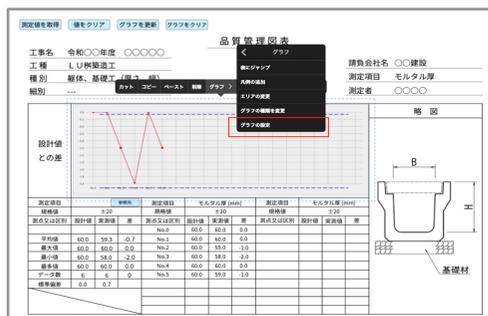
※測定結果から品質管理図を作成します



① 新規ノート作成> ノートテンプレート > パッケージ> 出来形管理から、「品質管理図表テンプレート」を選択して新規ノートを作成します。

② 工事名、工種、種別、細別、請負会社名、測定項目、測定者を指定し「測定値を取得」ボタンを押します。→ 抽出結果が表示されます。

③ 「グラフを更新」ボタンを押します。→ 設計値との差をグラフとして表示します。



④ グラフのコンテキストメニューから、「グラフ>グラフの設定」を開きます。

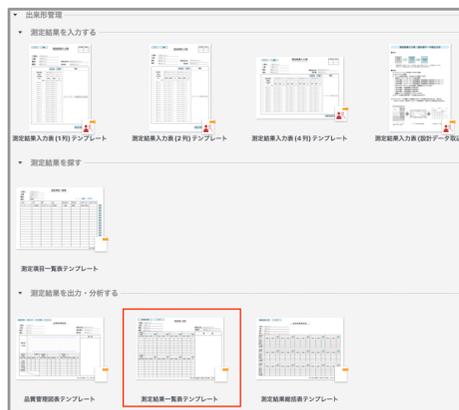
⑤ 値軸> 手動で設定するをオン、規格範囲が含まれるように、最小値、最大値、間隔を設定します。

⑤ 規格値の上限と下限の位置に、横線（図形）を移動します。

3. 操作手順

5) 測定結果を出力する

※測定結果から測定結果一覧表を作成します。



測定結果を更新 クリア

測定結果一覧表

工事名 令和〇〇年度 〇〇〇〇工事

工種 LU樹築造工

種別 躯体、基礎工 (厚さ、幅)

請負会社名 〇〇建設

測定者 〇〇〇〇

測定項目	中央：モルタル厚 (mm)			中央：基礎厚 (mm)			中央：基礎幅 (mm)			中央：躯体幅 (mm)		
	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No.0	60.0	80.0	20.0	100.0	98.0	-2.0	660.0	660.0	0.0	610.0	610.0	0.0
No.1	60.0	65.0	5.0	100.0	99.0	-1.0	660.0	659.0	-1.0	610.0	615.0	5.0
No.2	60.0	62.0	2.0	100.0	100.0	0.0	660.0	670.0	10.0	610.0	610.0	0.0
No.3	60.0	59.0	-1.0	100.0	101.0	1.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	605.0	-5.0
No.4	60.0	58.0	-2.0	100.0	97.0	-3.0	660.0	640.0	-20.0	610.0	598.0	-12.0
No.5	60.0	59.0	-1.0	100.0	98.0	-2.0	660.0	660.0	0.0	610.0	604.0	-6.0
No.6	60.0	59.0	-1.0	100.0	99.0	-1.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	605.0	-5.0
No.7	60.0	58.0	-2.0	100.0	89.0	-11.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	603.0	-7.0
No.8	60.0	60.0	0.0	100.0	87.0	-13.0	660.0	660.0	0.0	610.0	615.0	5.0



測定結果を更新 クリア

測定結果一覧表

工事名 令和〇〇年度 〇〇〇〇工事

工種 LU樹築造工

種別 躯体、基礎工 (厚さ、幅)

請負会社名 〇〇建設

測定者 〇〇〇〇

測定項目	中央：モルタル厚 (mm)			中央：基礎厚 (mm)			中央：基礎幅 (mm)			中央：躯体幅 (mm)		
	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先	規格値	±20	参照先
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No.0	60.0	80.0	20.0	100.0	98.0	-2.0	660.0	660.0	0.0	610.0	610.0	0.0
No.1	60.0	65.0	5.0	100.0	99.0	-1.0	660.0	659.0	-1.0	610.0	615.0	5.0
No.2	60.0	62.0	2.0	100.0	100.0	0.0	660.0	670.0	10.0	610.0	610.0	0.0
No.3	60.0	59.0	-1.0	100.0	101.0	1.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	605.0	-5.0
No.4	60.0	58.0	-2.0	100.0	97.0	-3.0	660.0	640.0	-20.0	610.0	598.0	-12.0
No.5	60.0	59.0	-1.0	100.0	98.0	-2.0	660.0	660.0	0.0	610.0	604.0	-6.0
No.6	60.0	59.0	-1.0	100.0	99.0	-1.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	605.0	-5.0
No.7	60.0	58.0	-2.0	100.0	89.0	-11.0	660.0	650.0	-10.0	610.0	603.0	-7.0
No.8	60.0	60.0	0.0	100.0	87.0	-13.0	660.0	660.0	0.0	610.0	615.0	5.0

略 図

出典：東北地方整備局「F2.様式集 (国土交通省)」様式-82を加工して作成

転記・集約

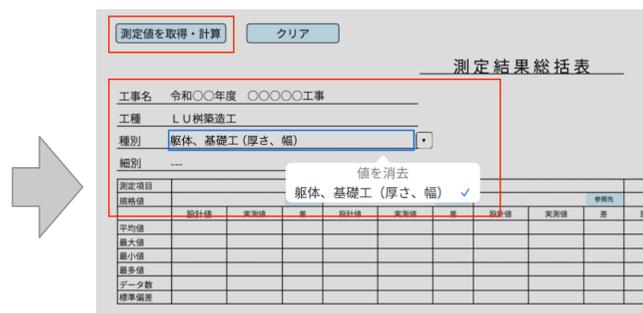
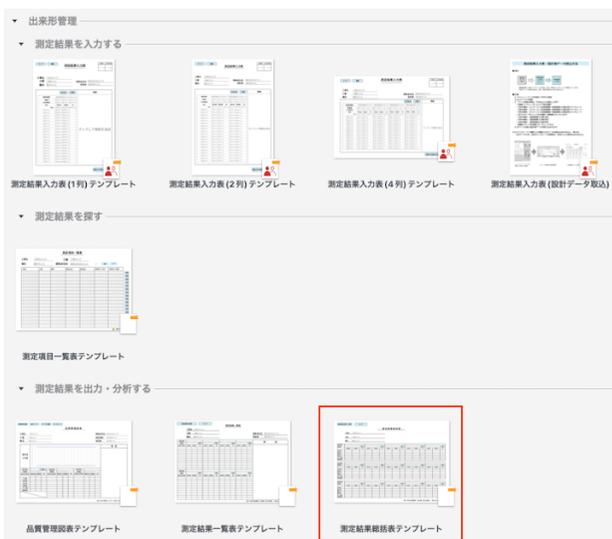
① 新規ノート作成 > ノートテンプレート > パッケージ > 出来形管理 から「測定結果一覧表テンプレート」を選択して新規ノートを作成します。

② 工事名、工種、種別、細別、請負会社名、測定者を指定し「測定値を取得」ボタンを押します。

③ 該当する測定結果が表示されます。
 - 最初に取得した測定項目の略図を右に表示します。
 - 「参照」ボタンから測定結果入力表に移動します。

3. 操作手順

5) 測定結果を出力する
 ※測定結果から測定結果総括表を作成します。



測定結果総括表

工事名 令和〇〇年度 〇〇〇〇〇〇工事
 工種 シリコ建築造工
 種別 躯体、基礎工 (厚さ、幅)

測定項目	モルタル厚 (mm)			中央、モルタル厚 (mm)			中央、基礎層 (mm)			中央、基礎層 (mm)			中央、基礎層 (mm)		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値	60.0	59.3	-0.7	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0
最大値	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0
最小値	60.0	58.0	-2.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0
データ数	6	6	0	6	6	0	6	6	0	6	6	0	6	6	0
標準偏差	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

測定項目	モルタル厚 (mm)		
	規格値	設計値	実測値
平均値	±20	60.0	59.3
最大値	60.0	60.0	60.0
最小値	60.0	60.0	58.0
データ数	6.0	6.0	6.0
標準偏差	0.0	0.7	0.7

① 新規ノート作成 > ノートテンプレート > パッケージ > 出来形管理から、「測定結果総括表テンプレート」を選択して新規ノートを作成します。

② 工事名、工種、種別、細別を指定し、「測定値を取得・計算」ボタンを押します。

③ 該当する測定結果を取得し、最大値、最小値、標準偏差等を計算して表示します。
 - 参照ボタンから測定結果入力表に移動します

4. その他

1) [CSV出力]の形式

項目名	概要	文字列型	補足事項
constructionName	工事名	文字列型	各データに同じ値を設定します
contractingCompanyName	請負会社名	文字列型	各データに同じ値を設定します
measurer	測定者	文字列型	各データに同じ値を設定します
typeOfWork	工種	文字列型	各データに同じ値を設定します
type	種別	文字列型	各データに同じ値を設定します
subdivision	細別	文字列型	各データに同じ値を設定します
measurementItem	測定項目	文字列型	測定項目に対して1つ
unitOfItem	測定項目1の単位	文字列型	測定項目に対して1つ
standardValue	規格値の説明文	文字列	測定項目に対して1つ
minimumSV	規格範囲の最小	数値型	測定項目に対して1つ
maximumSV	規格範囲の最大	数値型	測定項目に対して1つ
internalStandardValue	社内規格値の説明文	文字列	測定項目に対して1つ
minimumInternalSV	社内規格範囲の最小	数値型	測定項目に対して1つ
maximumInternalSV	社内規格範囲の最大	数値型	測定項目に対して1つ
station	測点	文字列	測点ごとにレコードが繰り返されます
designedValue	測点に対する設計値	数値型	測点項目における測点の設計値
actualValue	測点に対する実測値	数値型	測定項目における測点の実測値
difference	測点に対する差	数値型	測定項目における実測値と設計値の差

※この形式は ページを追加 > CSVから追加 では読み込めません

4. その他

2) [現在の内容をCSV出力]の形式

項目名	概要	文字列型	補足事項	項目名	概要	文字列型	補足事項
constructionName	工事名	文字列型	各データに同じ値を設定します	minimumInternalSV2	社内規格範囲の最小	数値型	測定項目2に対して1つ
contractingCompanyName	請負会社名	文字列型	各データに同じ値を設定します	maximumInternalSV2	社内規格範囲の最大	数値型	測定項目2に対して1つ
measurer	測定者	文字列型	各データに同じ値を設定します	designedValue2	測点に対する設計値	数値型	単位は "unitOfItem2"
typeOfWork	工種	文字列型	各データに同じ値を設定します	actualValue2	測点に対する実測値	数値型	単位は "unitOfItem2"
type	種別	文字列型	各データに同じ値を設定します	measurementItem3 unitOfItem3 standardValue3 minimumSV3 maximumSV3 internalStandardValue3 minimumInternalSV3 maximumInternalSV3 designedValue3 actualValue3	測定項目3の定義	測定項目1, 測定項目2, 測定項目4の定義と同じ	
subdivision	細別	文字列型	各データに同じ値を設定します				
measurementItem1	測定項目1	文字列型	測定項目1に対して1つ				
unitOfItem1	測定項目1の単位	文字列型	測定項目1に対して1つ				
standardValue1	規格値の説明文	文字列	測定項目1に対して1つ				
minimumSV1	規格範囲の最小	数値型	測定項目1に対して1つ				
maximumSV1	規格範囲の最大	数値型	測定項目1に対して1つ				
internalStandardValue1	社内規格値の説明文	文字列	測定項目1に対して1つ				
minimumInternalSV1	社内規格範囲の最小	数値型	測定項目1に対して1つ	measurementItem4 unitOfItem4 standardValue4 minimumSV4 maximumSV4 internalStandardValue4 minimumInternalSV4 maximumInternalSV4 designedValue4 actualValue4	測定項目4の定義	測定項目1, 測定項目2, 測定項目3の定義と同じ	
maximumInternalSV1	社内規格範囲の最大	数値型	測定項目1に対して1つ				
station	測点	文字列	測定項目1, 測定項目2, 測定項目3, 測定項目4で共通				
designedValue1	測点に対する設計値	数値型	単位は "unitOfItem1"				
actualValue1	測点に対する実測値	数値型	単位は "unitOfItem1"				
measurementItem2	測定項目1	文字列型	測定項目2に対して1つ				
unitOfItem2	測定項目1の単位	文字列型	測定項目2に対して1つ				
standardValue2	規格値の説明文	文字列	測定項目2に対して1つ				
minimumSV2	規格範囲の最小	数値型	測定項目2に対して1つ	diagram	略図 (画像: Base64)	Base64形式	略図画像 (JPEG, PNG) の画像データ
maximumSV2	規格範囲の最大	数値型	測定項目2に対して1つ				
internalStandardValue2	社内規格値の説明文	文字列	測定項目2に対して1つ				

5. 著作権等

- 品質管理図表

- 出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/common/001261261.pdf>)
様式-32 を加工して作成

- 測定結果総括表

- 出典：東北地方整備局 「2.様式集（国土交通省）」
(<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00910/kyoutuu/H20sankou/02sankou.pdf>)
様式-81 を加工して作成

- 測定結果一覧表

- 出典：東北地方整備局 「2.様式集（国土交通省）」
(<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00910/kyoutuu/H20sankou/02sankou.pdf>)
様式-82 を加工して作成